

2018年2月6日

保護者のみなさまへ

園田学園中学校・高等学校
校長 石井 稔

2017年度学校教育診断保護者アンケート結果について

春の訪れを心待ちにしている今日この頃、保護者のみなさまにはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。先般実施いたしました「学校診断保護者アンケート」にご協力いただきましてありがとうございます。その結果がまとまりましたのでご報告申し上げます。

この結果をふまえて、保護者のみなさまにさらに満足していただける教育活動を教職員一丸となって展開してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

1. 調査概要

- 調査目的：本校教育に関する保護者の方々の評価をふまえ、より良い教育を創造する。
- 実施日：2017年12月
- 対象：全校生の保護者
- 回収率：94.0% (777名/827名)

2. 調査結果について

「A=よく当てはまる」「B=やや当てはまる」「C=あまり当てはまらない」「D=全く当てはまらない」の回答について、「A+B=肯定的回答」「C+D=否定的回答」と表現し、概ね80%以上を「多い」、概ね60%以下を「少ない」と表現しています。

(1) 肯定的な回答が多かった項目 (37項目中15項目)

- ・学校は、教育目標・教育方針をわかりやすく伝えている。…………… (83.1%) (昨年 79.2%)
- ・学校は、子どもの安全や健康・衛生管理に努力している。…………… (88.4%) (昨年 80.0%)
- ・学校の教育環境は、施設・設備の面で満足できるものである。…………… (93.4%) (昨年 74.0%)
- ・学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。…………… (80.1%) (昨年 76.1%)
- ・学校は、生徒の安全指導についてしっかり取り組んでいる。…………… (82.8%) (昨年 78.9%)
- ・子どもを本校に入学させてよかったと思う。…………… (86.1%) (昨年 84.3%)
- ・子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。…………… (81.3%) (昨年 81.6%)
- ・学校の生活指導の方針(服装・頭髪・遅刻等の指導)に共感できる。…… (83.3%) (昨年 78.9%)
- ・「女性学～女性の学び～」の授業は意義がある。…………… (83.4%) (昨年 78.4%)
- ・学校行事の内容は充実していて、子どもは積極的に参加している。…………… (81.2%) (昨年 82.6%)
- ・学校での対応や、電話で話すときの教職員の対応は適切である。…………… (88.2%) (昨年 87.5%)
- ・学校は地震や台風などの非常時の対応を子ども・家庭に適切に伝えている。… (91.2%) (昨年 90.4%)
- ・家庭では、子どもと学校のことでよく話をする。…………… (82.2%) (昨年 81.2%)
- ・家庭でスマートフォンやタブレットの取り扱いや必要性などについてきちんと話し合っている。…………… (81.9%) (昨年 83.8%)
- ・子どもは、情報モラルについて理解し、スマートフォンやタブレットなどを正しく利用している。…………… (84.6%) (昨年 84.2%)

(2) 肯定的な回答が少なかった項目 (37項目中3項目)

- ・子どもが、学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている…………… (58.4%) (昨年 61.8%)
- ・学校のHPをよく活用している。…………… (34.6%) (昨年 39.8%)
- ・育友会活動に参加しやすい。…………… (41.4%) (昨年 39.8%)

3. まとめと今後に向けて

肯定的回答が多かった項目は37項目中15項目(2016年度9項目)(2015年度7項目)、肯定的な回答が少なかった項目が3項目(2016年度4項目)(2015年度8項目)となりました。数字の上では、この3年間で、保護者のみなさまのご協力のもとで、本校の教育活動に概ねご理解をいただいていると捉えることができます。一方、上記(1)(2)には現れませんが、肯定的な回答が60%を超えていますが、わたしたち教職員が注目しなければならない課題があります。以下に述べます。

(1) 学習面の課題克服に向けて

「子どもは、学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている」の肯定的回答が58.4%(昨年比-3.4%)、「子どもは、家庭でも学習にがんばって取り組んでいる」の肯定的回答が64.6%(昨年比+1.5%)、また、同時に実施した生徒アンケートでは、「宿題・予習・復習にしっかり取り組んでいる」の肯定的回答が52.8%(昨年度比+0.9%)「授業はわかりやすい」の肯定的回答は58.5%(昨年比-1.5%)となっています。これらの項目は、まだまだ満足度を高めていかなければならない重要項目です。

2020年度の教育改革に向けて、教科内容の「知識・理解」という基礎学力の習得を基に、答えが一つに定まらない問題に自ら解を見いだしていく「思考力・判断力・表現力」を身に付けることを目標に授業をすすめております。社会の変化にわたしたち教職員がまず対応できるように様々な研修会に参加し、学内での研修も積み重ねてまいりました。さらに、研究授業を通して実践をしているところです。引き続き、「生徒が楽しくわかりやすい授業」「生徒が意欲を持って学習に取り組むことができる授業」「生徒が自学自習に取り組むことができる授業」創りをすすめていかなければなりません。

(2) 生活指導面の課題克服に向けて

「学校の生活指導の方針に共感できる」は、肯定的回答が83.3%ありました。一方「学校はいじめや問題行動に対して適切に対応している」については肯定的回答が68.3%、「学校は人命や人権を尊重する意識を育てようと努力している」については肯定的回答が74.6%でした。決して「高い」数値とは考えていません。また、生徒アンケートの「学校生活についての先生の指導は納得できる」の肯定的な回答が55.4%と「低い」数値を示しています。

学校生活は生徒同士の関わりの中で成り立っています。集団での取り組みを学ぶ場所が学校です。お互いに、支え合い 鍛えあい、そして、共に学び ともに生きるという方針のもとで、集団で学ぶ教育に取り組んでいるところです。よりよい人間関係で構成された集団づくりのために、教職員が生徒に向き合い、生徒の声や想いを受けとめ、取り組まなければなりません。

最後に

自由記述の意見欄には、学校に対する感謝や信頼のご意見も多くいただき、教職員の大きな励みとなりました。一方、厳しいご意見、緊急に解決すべき課題も寄せられました。こうしたご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に活かし、保護者のみなさまのご期待にお応えできるよう全教職員で不断の努力をしてまいる所存です。今後ともご理解、ご協力をお願い申し上げます。

以 上